

2018/9/20

平成 30 年度第 2 回

郡山市立公民館運営審議会資料

郡山市立公民館運営審議会に係る諮問事項について

1 件名 「少子高齢化・国際化社会に対応した公民館の在り方」について

2 諮問理由

本市の人口は、2004（平成16年）年をピークに減少に転じ、今後も減少傾向が続くものと予想される。また、年少人口（0～14歳）は昭和60年には23.1%と5人に1人以上の割合を占めていたが、平成22年には14.6%に低下、さらに、平成32年には12.4%に減少すると見込まれる。一方、老年人口（65歳以上）は、昭和60年には8.7%であったが、平成32年には26.4%に増加すると見込まれ、少子高齢化に伴う様々な地域課題が顕在化してきている。

また、国際化の進展により、本市には多くの外国人や留学生が居住し、その数は年々増加傾向にある。さらに、国の観光立国施策や2020東京オリンピック・パラリンピックの開催等により、インバウンドの地方への波及が期待されており、本市においても国際理解の促進が必要となっている。

これら少子高齢化・国際化社会の到来を踏まえ、公民館には時代の要請を踏まえた役割が求められている。これらのことから、これからの公民館の企画・運営はどうあるべきか、皆様方の豊富な御経験と高い識見により様々な視点から御意見を賜りたい。